

[mokuyou@mx35.tiki.ne.jp](mailto:mokuyou@mx35.tiki.ne.jp)

<http://ww35.tiki.ne.jp/~mokuyou/>



特定非営利活動法人

# 木よりの家

編集人 NPO 法人木よりの家（地域活動支援センター木よりの家）

運営日 月～金 9:30～16:00

〒285-0014 佐倉市栄町7-15 TEL/FAX 043-486-7686

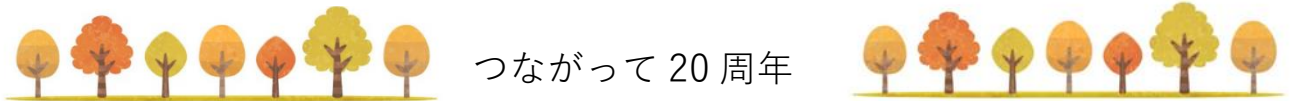
郵便振替口座 00100-4-39320 加入者名 木よりの家

## <木よりの家>

巻頭言 中邨淑子	1
社会参加報告	2
サマーコンサート	3
総会報告・追悼文	4
お知らせ	5
会員・寄付者	6

## <まあるい会>

まあるい会 会報	7
まあるい会 会報	8
まあるい会 近況	9
お知らせ	10



## つながって20周年

「木よりの家」のネーミングは1994年に誰もが集えるほっとできる居場所の開設にあります。職員一人を置いて長続きする場所にしていくためには当時の力では週に一日と考えました。しっかりと大地に根を張り枝葉を茂らせ日陰を作ってくれる大木をイメージし木曜日に「フリースペース木よりの家」はスタートしました。

その居場所を作った原動力となったのは現在も活動が続いている「まあるい会」です。まあるい会では障害のある子もない子と一緒に遊ぶことを通して、親たちが子育てのことや家族のことなど色々な話をしてきました。子どもたちの成長に合わせ話は学校のことになり、将来を考えるようになった時、いつのころからか子どもたちの居場所が欲しいね！という共通の目標ができました。フリースペースを開設した時は本当に嬉しかったです。

2003年子どもたちが高校を卒業する年齢に達したのを機に、フリースペースから「NPO 法人木よりの家」として活動するようになりました。それから20年、私は今でも利用者の就労支援などに関わらせてもらい木よりの家に行くことがあります。いつ行っても暖かい場所です。

今日に至るまでを思い起こせばお世話になったばかりで音信が途絶えた方も多く、失礼なことも多々あったかと思えます。この場をお借りして心からのお礼と感謝を申し上げます。関わってくださった皆様お一人お一人の思いに支えられて今日の木よりの家があると思います。これからも活動に関心を向けてくださり、利用者の成長と一緒に喜んでいただけましたらうれしい限りです。

(中邨)

# 社会参加報告

## 6月24日(土)「ブルーベリー狩り」

佐倉市に新しくできたブルーベリー狩りの出来る施設「さくらノーム」に遊びに行きました。ブルーベリーの種類がたくさんあり食べ比べをしていたら、あっという間に時間が経ってしまいました。

「さくらノーム」は、ブルーベリー狩り以外にもレクリエーションができる広場もあるので次に訪れたときはそちらも利用してみたいです。メンバーも好みのブルーベリーを見つけるため自分でブルーベリーを摘んで食べ比べを楽しみました。この日は気温がとても高く暑かったので最後の方は、体力があり余ってるメンバーにブルーベリーをたくさん収穫してきてもらい日陰のベンチで美味しくいただきました。

(スタッフ島田 紅梨)





# Summerコンサート

## 7月17日(月祝)サマーコンサート♪

日頃、お世話になっているボランティアの方や保護者の皆様をお呼びして、サマーコンサートを開催しました。会場は、木ようの家で、お星さまのクラフトで飾り付けをしました。

司会は、愛ちゃんが務め、智美さんのピアノ伴奏で「ビビディ・バビディ・ブー」「輝く未来」のトーンチャイム演奏や、「とんとんとんひげじいさん」の合奏をしました。合奏はピアノ、キーボード、グロッケン、ウッドブロック、スズをメンバーが一生涯懸命演奏し、練習の成果もあって音がそろってました!

「ポッチャコーナー」では、メンバーと会場の皆さんがポッチャで対決!結果はメンバーチームの勝利でした!みんなで歌おう♪のコーナーでは「ドレミの歌」を雄介くん、まやちゃん、亮くん、夏海さんがマイクを持って歌い、会場の皆さんもジェスチャーをしながら歌ってくれました♪最後は「パプリカ」の手話ダンスを、一輝くんが太鼓でリズムを取って皆で踊りました!

音楽教室の由利先生は「見知らぬ国から」「月の光」をピアノで素敵な演奏をして頂き、スタッフの私(小林)も「浜辺の歌」「からたちの花」を独唱させて頂きました。

メンバーを代表して昇くんが会場の皆さんにゼリーをプレゼント♪皆さんから最後に感想をお聞きし、メンバーに温かい感想を頂きました!

木ようの家らしいアットホームなコンサートが出来てよかったです。

(スタッフ小林 薫)



# 報告・連絡

## 総会報告

2023年6月10日（土曜日）木ようの家において第21期通常総会が開催されました。  
正会員数23名、出席者13名、委任状10名、で総会は成立しました。

理事長から本年度の木ようの家の活動について、20周年イベントの決定事項について、皆様のご意見を頂きたい。との挨拶から総会が進行していきました。

前年度の事業報告並びに会計報告、監査結果も含めて全員の拍手で承認されました。  
今年度の予算と事業計画は、例年通りの計画ではありますが、新型コロナの影響により行事予定は流動的になると報告し、全員の拍手で承認されました。

監事の交代がありました。佐藤志郎監事の辞任に伴い、石渡敦子監事が選任され、全員の拍手により承認されました。（報告 事務局島田）

## 追悼 横山さん、ありがとうございました

川柳の「笑声」さん、こと横山詔正さんが今年4月13日に亡くなりました。

大蛇町に木ようの家があった時からボランティアや点字指導スタッフとして、また、会報の川柳コーナーの選者としても、10数年近くお付き合いいただきました。

私とはさらに古く、20年以上前、佐倉走る会を通じてお世話になりました。

機知にとんだユーモアあふれる弁舌で、走ることをやめてからは千葉の「川柳」会で活躍していました。ちょっと違った目線からアドバイスをいただいて木ようの家にとっても得難い方でした。ひろさんとの点字作成時の絶妙なやりとりも横山さんならではの付き合い方でした。お別れの席に、ひろさんが来てくれたことを横山さんは喜んでくれていると思います。

83歳というお年でした。まだまだ、ご一緒にいられると思っていました。

たった3か月の入院で急逝されたことが木ようの家にとっても、私自身にとっても残念でなりません。横山さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

心からご冥福をお祈りいたします。

〈元センター長 工藤啓子〉



# お知らせ

## 第三回「笑顔 de つながる ふくしフェスタ」～手と手と手、つながる!明るい未来～

日時:2023年9月30日(土) 10:30～15:00

会場:佐倉草ぶえの丘(佐倉市飯野820)芝生ひろば・第2キャンプ場

木ようの家は、手芸品の販売とワークショップを行います。



### お話し会での地域交流

毎月第4木曜日に地域文庫連さんの行っている「お話し会」に10月から地域の皆さまと一緒に参加できるようになりました。申し込みは不要ですのでお近くにきた際は、ぜひお立ち寄りください。※ご参加の際はマスクの着用をお願いいたします。

日程:10月26日(木) 11月30日(木) 12月21日(木)

時間:13:30～14:30

場所:木ようの家



NPO 法人 木ようの家 20周年記念「一緒に楽しも!これからも」⇒ [チラシあり](#)

**特定非営利活動法人木ようの家をご支援頂きありがとうございます**

賛助会員 3,000円/年 正会員 5,000円/年 団体会員 10,000円/年

振込先（郵便局） 口座番号 00100-4-39320  
加入者名 木ようの家

正会員 2023年度分 23名 9月15日まで会費を納入いただいた方（順不同・敬称略）

個人名の記載省略

賛助会員 2023年度分 42名 9月15日まで会費を納入いただいた方（順不同・敬称略）

個人名の記載省略

団体会員 2023年度分 4団体 9月15日まで会費を納入いただいた方（順不同・敬称略）

法人名の記載省略

お手伝いをいただいた方（敬称略）

個人名の記載省略

青年&学生スタッフ

個人名の記載省略

寄付金（順不同・敬称略）

個人名の記載省略

子ども服・バザー品・日用品・食品寄付

現在寄付の品はご遠慮頂いております。

木ようの家のリサイクルショップ部分は閉店いたしました。

大変申し訳ありませんが、寄付品については、一切お受け

取りいたしておりません。どうかご理解の上ご了承下さい。

川柳コーナーを終了いたします。これまで長い間  
ご愛読いただき、誠にありがとうございます。ありがとうございました。



# まあるい会・会報 NO.141

編集人 まあるい会代表 山本 智子

〒285-0077 千葉県佐倉市内田 42  
TEL 090-7219-4255

—障害のある子もない子も共に学び、遊び、育ち合うことのできる学校でありたい—

富里市の小学生のお子さんの支援学級から普通学級への転籍要望書を7月5日に提出し、次の日6日から直ぐに転籍することができました。

2023年7月5日

富里市教育委員会  
教育長 吉野光好 様

富里市立K小学校 5年1組 RY  
3年1組 KS  
保護者 D R  
各地域の会（省略）

## 要望書

貴職におかれましては、日ごろより子どもたちの学校生活につきまして、ご指導およびご尽力をいただきありがとうございます。

私たちの息子・RY、娘・KSは、市立K小学校5年生と3年生です。これまでサポートセンター（特別支援学級）でお世話になってきましたが、明日2023年7月6日から普通学級への転籍を希望しています。

私たちは、RYとKSの障害による困難は本人たちに克服させるものではないと思っています。障害による困難は本人たちが努力して克服するものではなく、障害のない人中心に作られてきた社会の方こそ調整し変わることで解消するものだからです。また、特別支援学級に在籍する限り、RYとKSは皆と分けられる存在です。今のままだと皆とは『交流』するものであって、一緒にいることは『普通』ではないのです。普通学級は誰もが居て当たり前なのところに、我が子たちは条件が付かなくては居られないことに憤りを感じます。以前より何度も「普通学級へ転籍をし、普通学級の中で必要な配慮をして欲しい」と希望する旨をK小の先生に伝えておりました。しかし「支援級に在籍をしていなければ配慮はできない」「普通学級に居ると放置状態になってしまいますよ」と当時の教頭先生に言われ聞き入れて頂けませんでした。RY本人が直接親と当時の支援級の先生と当時の教頭先生の前で「朝からみんなの所に行きたい」「さみしいから学校に行きたくない」と訴え実際に何日か不登校になったこともありましたが「勉強が難しいよ」「わからなくなるよ」と複数の先生に言われ、RYも怖くて「ちゃんとサポセンに行きます」と言わざるを得



なかったのです。

でも今は「先生（5年1組担任）がみんなと一緒にぼくのこと博士って呼んでくれるの！嬉しい！みんなも呼んでくれるの。ぼく嬉しいなあ」「サポセンですずっと過ごすのはさみしい」「みんなのところに行くとお客様なんだ。お客様は嫌だ！」「5年生のみんなの所へ行きたい」「ぼくは5年生なのに、どうして5年生の教室にいちゃいけないの」「ぼくみんなに仲間外れにされてるの？そんなの嫌だあ！」と訴えております。7月3日月曜日からは「サポセンに行きたくない」と登校を拒否しています。KSは授業参観の日、学校中の児童が皆と一緒に教室で親が見守る中、たったひとりぼっちでサポートセンターで授業を受け、帰宅するなり「先生と二人きりでお勉強するのはさみしい」「みんなのところに行きたい」と大泣きし、以来何度も「一人でお勉強するのはさみしいな」「3年生のお部屋でお勉強したいな」「なんでわたしだけ」と呟くようになり「気持ちがざわざわすると、出ていかなくちゃ、サポセン行かなくちゃと思っちゃう。3年生のお部屋に居たいのに。先生（3年1組担任）が『ざわざわしても良いんだよ』って言ってくれないかな。安心して3年生のお部屋に居られるのにな」と教えてくれました。このように二人とも気持ちをはっきり言葉にして普通学級への転籍を希望しておりますので、私たち保護者もRYとKSのために要望書を出させていただきました。特別支援教育の名のもとに、障害を理由に普通学級から排除される、これは差別であり人権侵害です。私たち保護者もですが、RYとKSが明確な希望を出しておりますので、普通学級の中で必要な配慮をして下さい。

私たちは、K小学校が障害のある子もない子も分けられることなく、ありのままの姿を認めながら、一緒にお友達と楽しく生活を送り、共に学びあう場所であってほしいと願っています。校長先生にも、私たちの希望をお伝えしてあります。

私たち親子の願いが実現されるよう、下記のことを要望いたします。ぜひ実現していただきますようお願いいたします。

## 記

### 【要望事項】

- 1, 明日2023年7月6日から普通学級に転籍させてください。
- 2, 転籍にあたっては、教育支援委員会にかけないでください。
- 3, 転籍にあたっては、温かく普通学級に迎えられるようにしてください。
- 4, 小学校長及び教頭への指導を行い、RY・KSが安心して楽しく学校に通えるようにしてください。また転籍先の担任一人に任せるのではなく、学校全体でフォローができるようにしてください。
- 5, サポートセンターにある個人の机・ロッカーは完全に撤去してください。
- 6, 特別支援教育はお断りします。サポートセンターへの通級も個別の教育支援計画の作成も一切勧めないでください。普通学級の中で本人の良いところを認め、褒め、必要な工夫や配慮を行ってください。
- 7, RY・KS本人へ、特別支援教育を勧める発言は決してしないでください。また、普通学級にいることへの不安を煽る発言も決してしないでください。
- 8, どのような工夫や配慮を行うかは、RY・KSの人権や保護者の意向を尊重しながら行ってください。
- 9, 補助員のN先生は学校内だけでなく学童でも差別・人権侵害発言をし子どもを怯えさせ、現在大いに揉めております。辞めさせてください。
- 10, 転籍前も後もしじめの対象にならないように、配慮してください。
- 11, 同じ学校に在籍している妹への、教員からの嫌がらせやいじめがないようにしてくだ



さい。

- 12, 現存する個別支援計画関連の書類一切を返却してください（連携している医療機関からの情報を含みます）
- 13, この要望書を出したことにより、私たち家族に不利益がないようにしてください。

以上

---

## ☆秋期入学者選抜で、千葉市のOさんが生浜高校(3部制定時夜間部)に合格されました。おめでとうございます！



近況



愛は毎月お給料日後の週末にご飯をごちそうしてくれます。先日、その食事の最中に地震があり、店内のあちこちでスマホのアラームが鳴ったりとちょっと騒然となりました。幸い、地震はそれほど大きくなく、それきりでその後は何事もなかったかのように食事を済ませました。帰りの車の中で愛が「びっくりしたー」というので「そうだね、地震びっくりしたよね」と返す間もなく「お店の人がイケメンで」と続きました。地震よりイケメンの店員さんが記憶に残ったようです。（山本）

お盆休み、茉耶と中高生の孫2人を引き連れて、17万トンの大型客船ベリッシマで、佐世保と済州島に行ってきました。なんと3、4人目は17歳まで無料だったので、子連れの家族など5,000人以上が乗船し、2つの台風もちょうど避けられました。朝は、ラジオ体操から始まり、ダンス、プール、シアターショー、盆踊りなどを楽しみました。茉耶も、ちょっぴりオシャレして、甥っ子たちと過ごせて嬉しそうでしたー。（山崎）

時の経つのも早いもので淳さんとの共同生活も丸三年が過ぎました。最近の淳さんは生活リズム、精神的と共に安定したご様子で過ごされております。我々スタッフは4人交代で過ごさせていただいておりますが、淳さんはシフトの曜日、時間を全て把握しており交換の時間になると、「もう帰っちゃうんでしょ?」「寂しい」と言って握手を求めてくれる事や、次のスタッフには「会いたかった」と笑顔で迎え入れてくれる事がほとんどです。外出時も一人でどこかに行く事はなく、ずっと私達に付き、目に付いた物ありましたら、「なにこれ?」と聞いてきたり、面白い物がありましたら大きな声を出して笑ったりしております。私達との生活が、当たり前のような感覚になってもらったのかなと思います。これからも淳さんの生活が有意義になるよう私達も淳さんと一緒に楽しみ悩み過ぎてまいります。～ ケアステーション奏 川上利夫様より～（中邨）

父との定例お出かけ会。父が予約する映画をまちがえてトム・クルーズのミッションインポッシブルを予約した。ところがヒロは興味なくて20分で席を立って出て行ってしまった。観客動員数200万人のトム・クルーズ映画にあきて途中で出た人はヒロくらいだと思う。（酒井）

諒は、7月末と8月末にチーム合宿がある。現地集合なので、1人で電車を乗り継いで行く。茨城県東海村海岸の、松林のある砂浜をめっちゃ走る。熱い砂に、足がめりこむのもかまわず、ひたすら走る。チームメイトと競うことで頑張れるのだと思う。ありがたい。必死になれることがあるのが嬉しい。（米澤）

今年の夏は、7月にぎっくり腰をした後背中との痛みと右膝の痛みにも悩まされています。毎日汗だけで帰ってくる亮の洗濯物も沢山あるので仕方ないですが、母も夏休みが欲しいこの頃です。因みに、亮はすこぶる元気です 😊（浅田）

家族でコロナに罹った。夫と私は熱も出て結構しんどかったが、健吾は咳と鼻水のみで食欲もあり、5日間外出できないことの方がきつそうだった。（美濃）



# お知らせ



まあるい会

【問い合わせ：山本090-7219-4255】

通常学級で学ぶ障がい児の佐倉市内あるいは近郊に住む保護者の会

〔定例会〕基本的に第二金曜日 10:30～

場所は特定非営利活動法人木ようの家です。

共に育つ教育を進める千葉県連絡会

成田

〈日時〉2023年11月19日（日）13:30～15:30

〈場所〉もりんぴあこづ 2階会議室C

お問い合わせ：080-1257-7359（大田）

佐倉

〈日時〉2023年12月17日（日）13:30～15:30

〈場所〉木ようの家

お問い合わせ：090-7219-4255（山本）



共に育つ教育を進める千葉県連絡会の交流会が、成田・佐倉にて開催されます。

皆さまお気軽にご参加ください。

いつも会報ご購読ありがとうございます。

会報がご不要な場合は、大変お手数ですが、木ようの家へ電話またはメールにて発送停止のご連絡をお願い致します。

まあるい会

事務局 美濃真奈美

phone & fax 043-489-3356

NPO 法人木ようの家

理事長 山崎静江

phone & fax 043-486-7686

編集人 特定非営利活動法人木ようの家 佐倉市栄町7-15

発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 川口市芝新町15-9 アステール藤野1階

頒価 50円